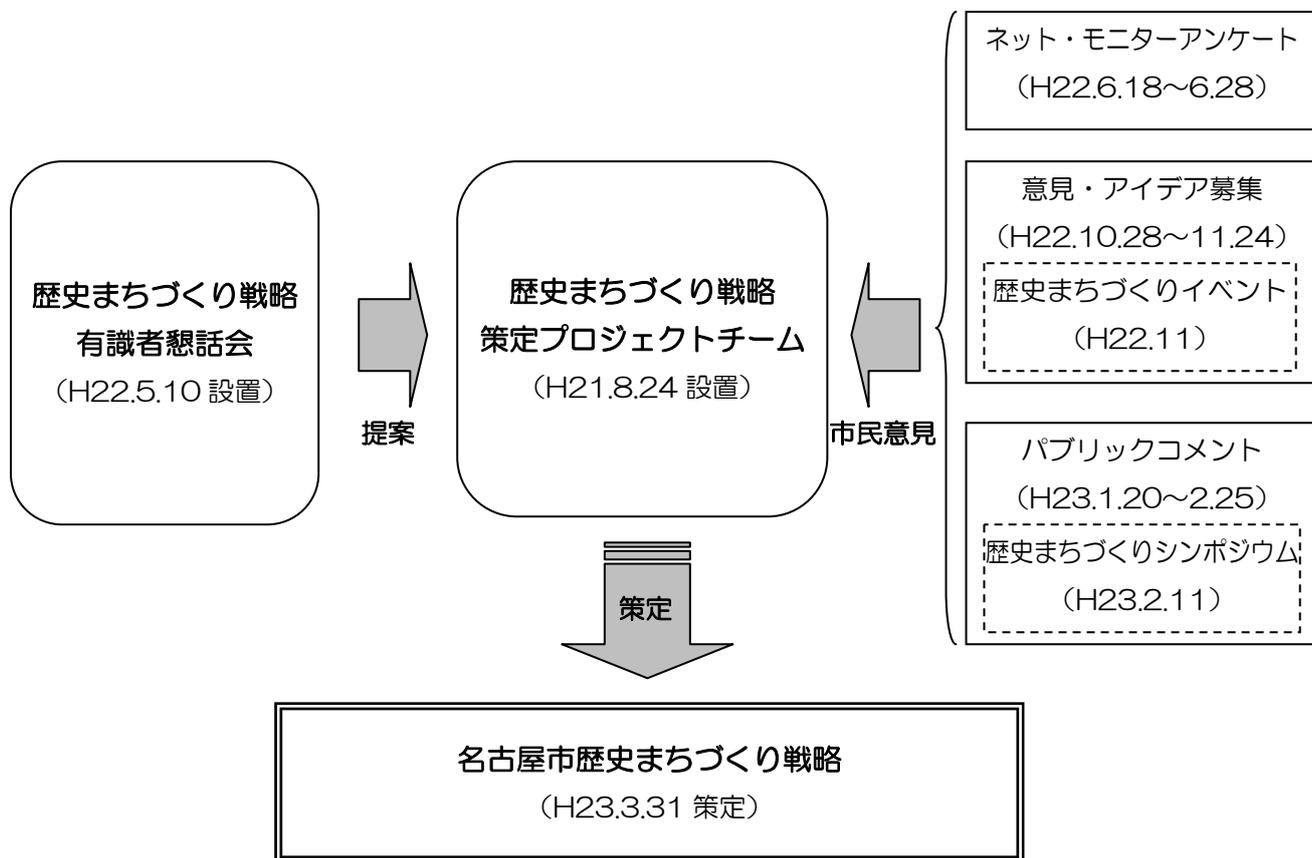


資料編

1 策定経緯

「名古屋市歴史まちづくり戦略」の策定にあたっては、副市長を座長とする行政職員によるプロジェクトチームを設置するとともに、学識経験者を中心とした有識者懇話会を設置し、戦略の検討を進めました。

あわせて、歴史まちづくりに関するアンケートやイベントなどを実施し、収集した市民意見をふまえて戦略を策定しました。



○名古屋市歴史まちづくり戦略策定プロジェクトチーム 委員名簿

役職	氏名	所属等
座長	山田 雅雄	副市長
委員	鈴木 邦尚	市民経済局長
	田宮 正道 (入倉 憲二)	住宅都市局長
	村上 芳樹	緑政土木局長
	伊藤 彰 (佐合 広利)	教育長

() は前委員

○名古屋市歴史まちづくり戦略有識者懇話会 委員名簿

(50音順 敬称略)

役職	氏名	所属等	分野
座長	瀬口 哲夫	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授	都市計画
委員	赤羽 一郎	名古屋市文化財調査委員会委員長※	文化財
	石田 正治	中部産業遺産研究会副会長	産業遺産
	西澤 泰彦	名古屋大学大学院環境学研究科准教授	建築史
	原田さとみ	タレント・エンカルコーディネーター	多世代交流・生涯学習
	松尾 直規	中部大学工学部教授	環境水理学・河川工学
	水谷 友彦	愛知建築士会建築まちづくり特別委員会委員長	建築実務
	村山 颯人	名古屋大学大学院環境学研究科准教授	都市計画・参加型まちづくり
	森田 優己	桜花学園大学学芸学部教授	観光
	安田 文吉	南山大学人文学部教授	芸能文化史

※第1・2回については、名古屋市文化財調査委員会委員長代理として鈴木道子氏が出席

○名古屋市歴史まちづくり戦略有識者懇話会 開催概要

回	開催日	議 題
第1回	H22. 6. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり戦略策定の趣旨等 ・歴史まちづくりの現況と課題
第2回	H22. 7. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット・モニターアンケートの調査結果の報告 ・歴史まちづくり戦略（骨格試案）について
第3回	H22. 9. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり戦略（粗案）について
第4回	H22. 12. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり戦略（原案）について
第5回	H23. 3. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントで寄せられた市民意見の内容及び本市の考え方 ・歴史まちづくり戦略について



《市役所本庁舎正庁での会議風景》

○意見・アイデア募集

実施期間	平成22年10月28日(木)～11月24日(水) (28日間)
提出状況	<ul style="list-style-type: none"> ・意見提出者数 28人 ・意見提出方法 <ul style="list-style-type: none"> ファックス 5通 郵送 5通 電子メール 15通 持参等 3通
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源である名古屋城と東海道を結ぶ本町通において、大名行列などのお祭りを企画してはどうか。 ・熱田神宮周辺において、起業したい若者に店舗を貸したり、「ゆるキャラ」などを作ったりして、若い力が入ってくるようなまちづくりを盛り上げてほしい。 ・堀川の朝日橋から山王橋あたりまでの両岸の樹木の景観は素晴らしいと思うので、観光資源として育てると良い。 ・大高周辺の城跡、砦跡、寺社を巡るハイキングコースを設定してはどうか。 ・名古屋を核とした東海地方の広域的な取り組みの視点を入れてみてはどうか。

○パブリックコメント

実施期間	平成23年1月20日(木)～2月25日(金) (37日間)
提出状況	<ul style="list-style-type: none"> ・意見提出者数 46人 ・意見提出方法 <ul style="list-style-type: none"> ファックス 12通 郵送 9通 電子メール 21通 持参等 4通 ・意見総数 60件
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・堀川をはじめとした水辺を、歴史まちづくりの資産として活用してほしい。 ・熱田界隈の魅力向上に取り組んでほしい。 ・城山・覚王山周辺の多様な歴史的資源を総合的に捉えたまちづくりが必要である。 ・歴史的建造物のみでなく、その周辺環境を配慮していくことも必要である。 ・歴史まちづくりを担う人を育てることが大切である。 ・次の100年間に向かう「新しい歴史の創造」も同時に考えなければならない。

○歴史まちづくりイベント

開催日	開催内容	参加者・会場
H22. 11. 3	「榮光館で歴史の風を感じよう」(共催) 金城学院の生徒による仕舞、池田誠一氏(NPO白壁アカデミア世話人)による講演など	約100名 金城学院高校榮光館
H22. 11. 14	「語ろう名古屋! 歴史の流れを未来へつなぐ~境界の創造力~」(共催) 古池嘉和氏(名古屋学院大学)などによるシンポジウム	約200名 名古屋学院大学白鳥学舎
H22. 11. 17	「名古屋の建築と町並み」(主催) 瀬口哲夫氏(名古屋市立大学)による講演	約120名 名古屋都市センター
H22. 11. 20	「都市の記憶を活かしたまちづくり~なごやへの期待~」(共催) 鈴木博之氏(博物館明治村館長)による講演	約150名 名古屋都市センター



《金城学院の生徒による仕舞》



《講演風景(鈴木博之氏)》

○歴史まちづくりシンポジウム

開催日	開催内容	参加者・会場
H23. 2. 11	「語りたくなるまち名古屋の実現」(主催) ○基調講演「土地の文明~中部を読み解く~」 竹村公太郎氏((財)リバーフロント整備センター理事長)による講演 ○ミニコンサート 愛知県立芸術大学の学生による演奏会 ○パネルディスカッション「語りたくなるまち名古屋の実現」 瀬口哲夫氏(名古屋市立大学)、堀越哲美氏(名古屋工業大学)、 竹村公太郎氏(基調講演者)、丸田稔之氏(中日新聞社)、 山田雅雄氏(名古屋市副市長)、羽根田英樹氏(名古屋都市センター)	約400名 鯉城ホール



《基調講演(竹村公太郎氏)》

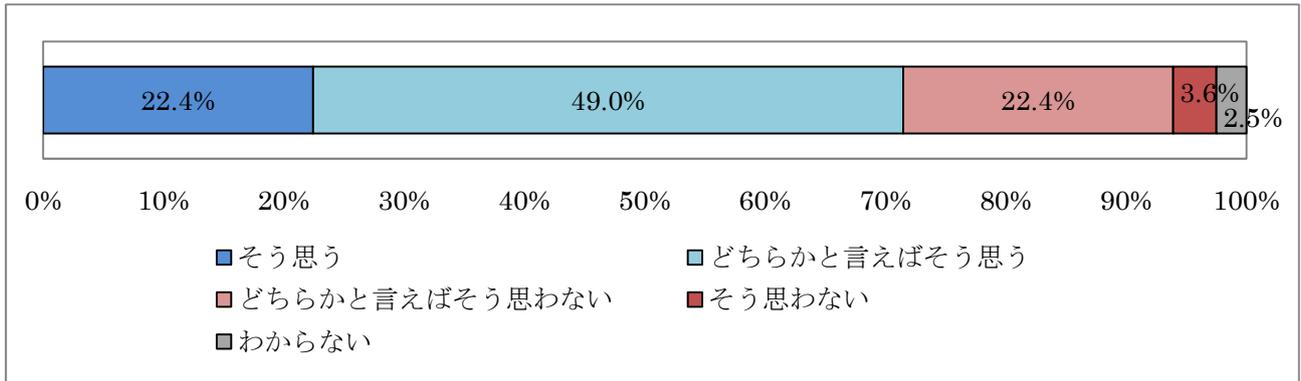


《パネルディスカッション》

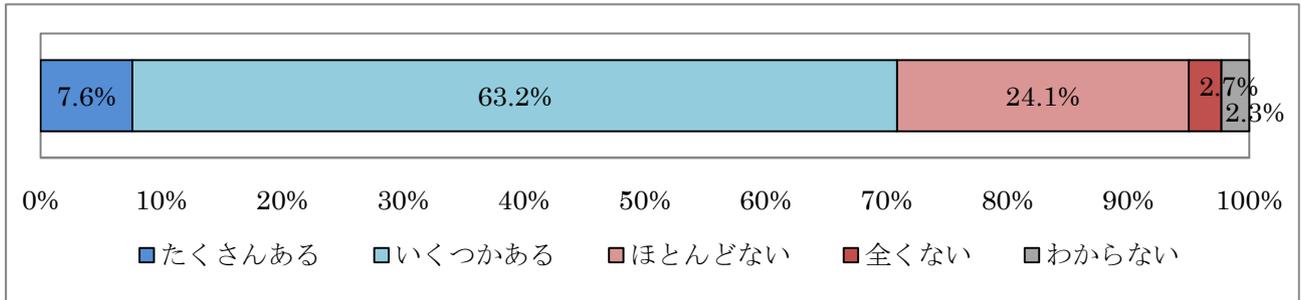
2. ネット・モニターアンケートの概要

- ・調査テーマ 歴史まちづくりについて
- ・アンケート実施期間 平成22年6月18日（金）から平成22年6月28日（月）まで
- ・モニター数 500人
- ・アンケート回答数 473人（有効回答率：94.6%）

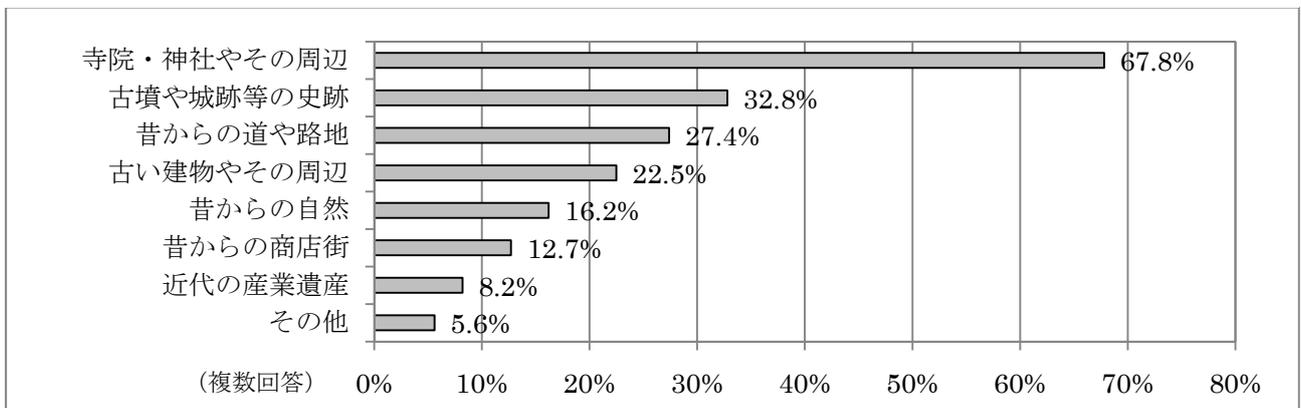
問1 あなたは、名古屋は歴史的な資源が豊富なまちであると思いますか。



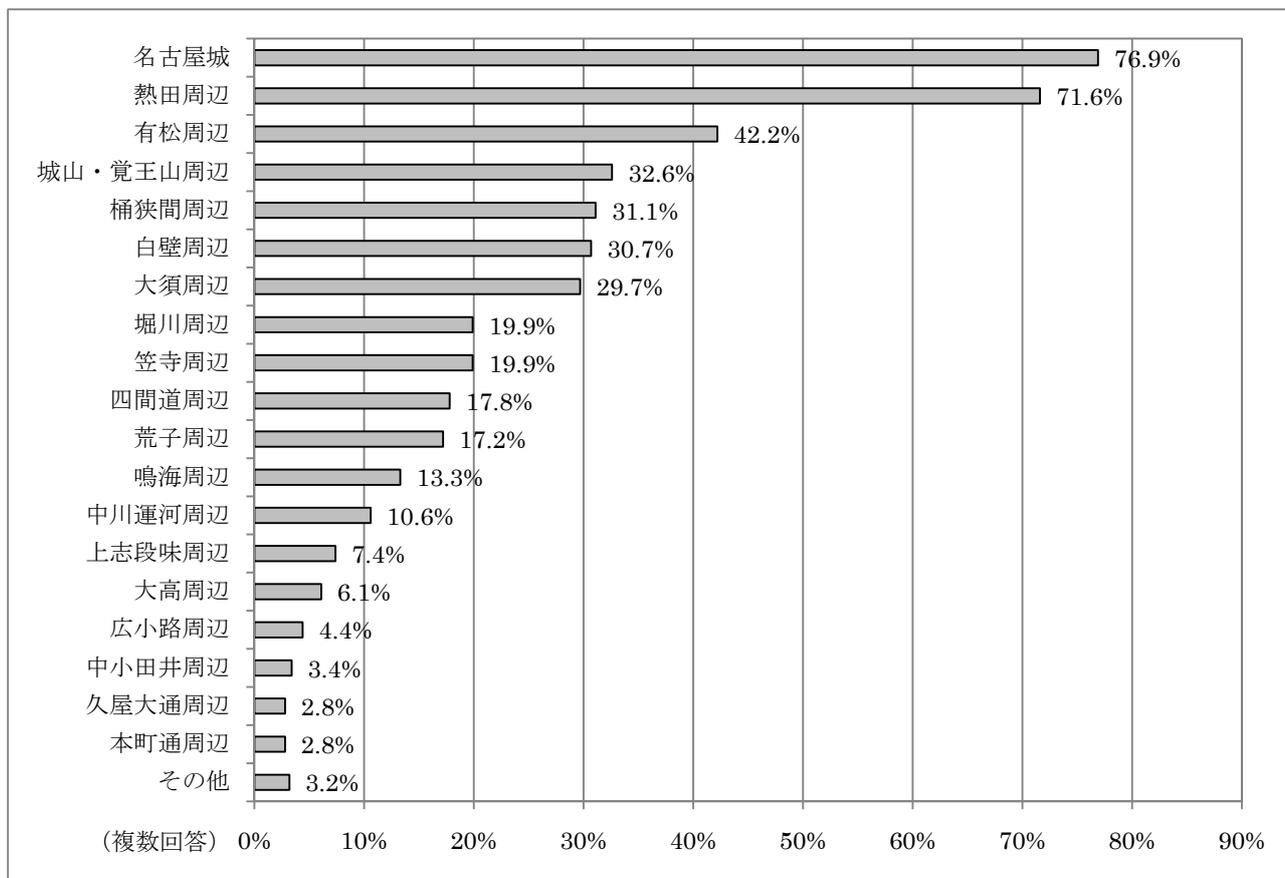
問2 あなたがお住まいの地域において、歴史が身近に感じられる場所がありますか。



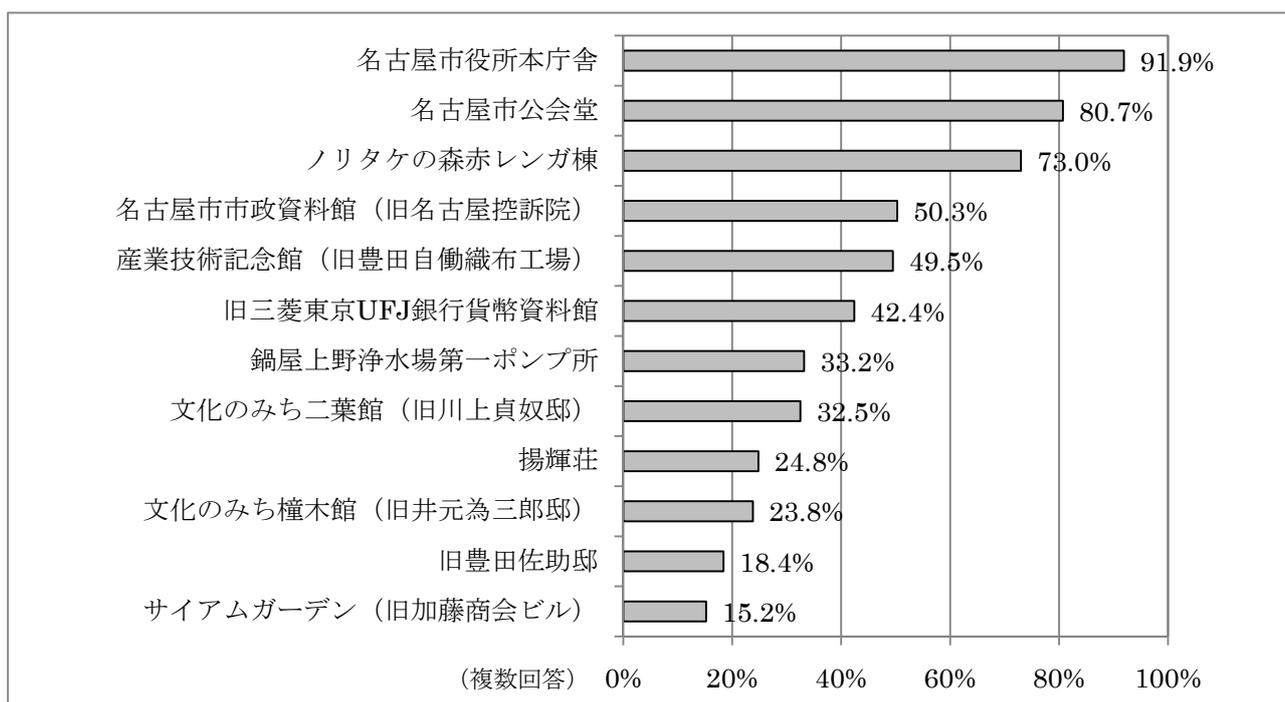
問3 あなたがお住まいの地域において、歴史が身近に感じられる場所は、どのような場所ですか。



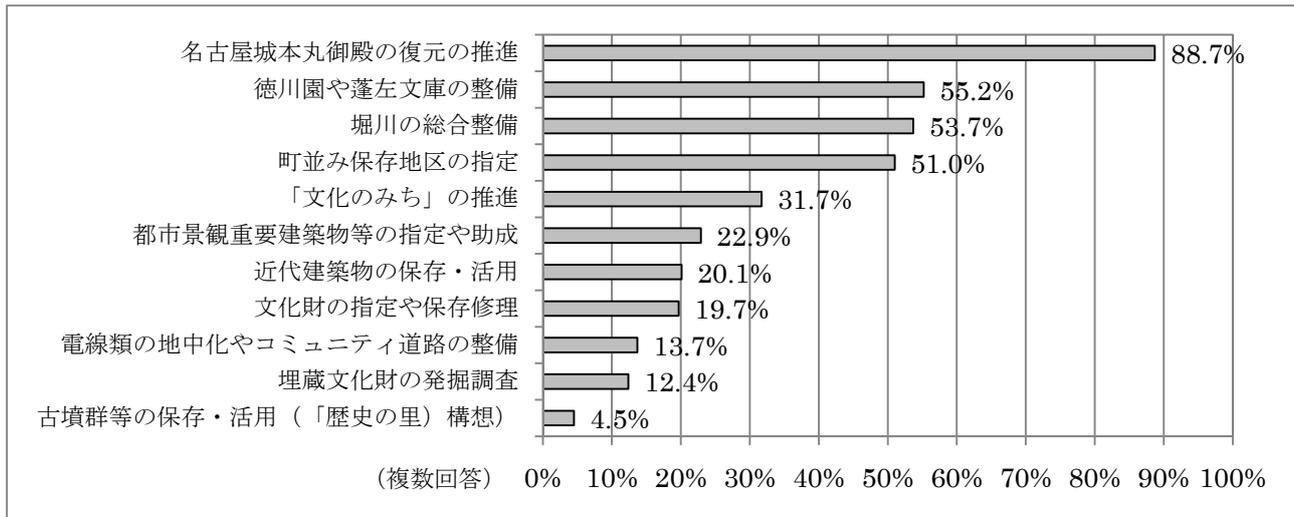
問4 名古屋市内の次の場所のうち、あなたにとって歴史的な魅力がある場所として思い浮かぶのはどれですか。



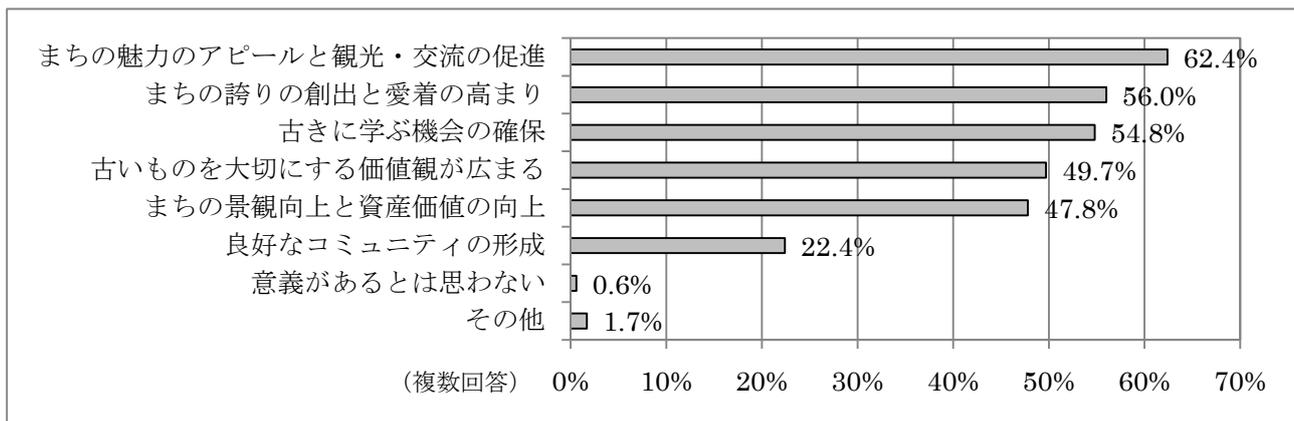
問5 名古屋市にある次の近代建築物のうち、あなたが知っているものはどれですか。



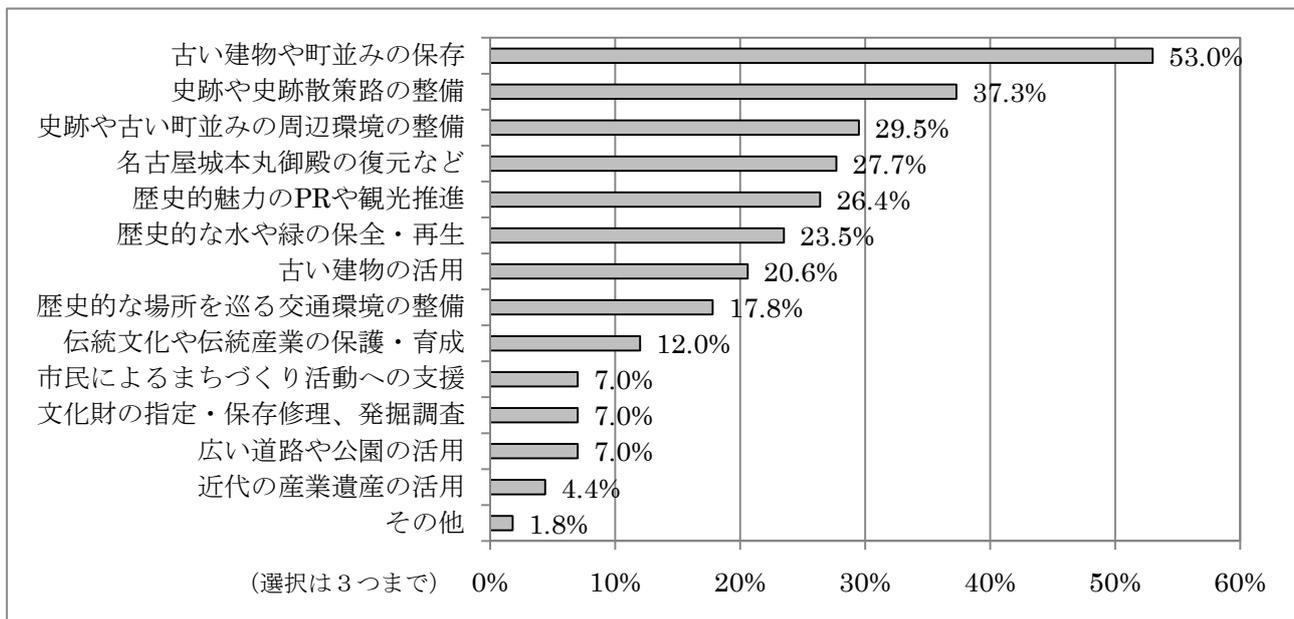
問6 あなたが知っている名古屋市の「歴史まちづくり」に関する取り組みはどれですか。



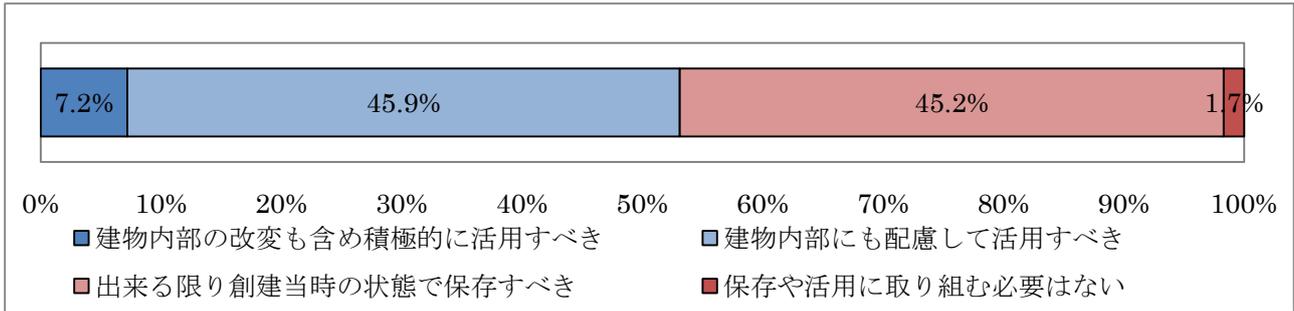
問7 あなたは、歴史的な地域資源を活かしたまちづくりには、どのような意義があると考えますか。



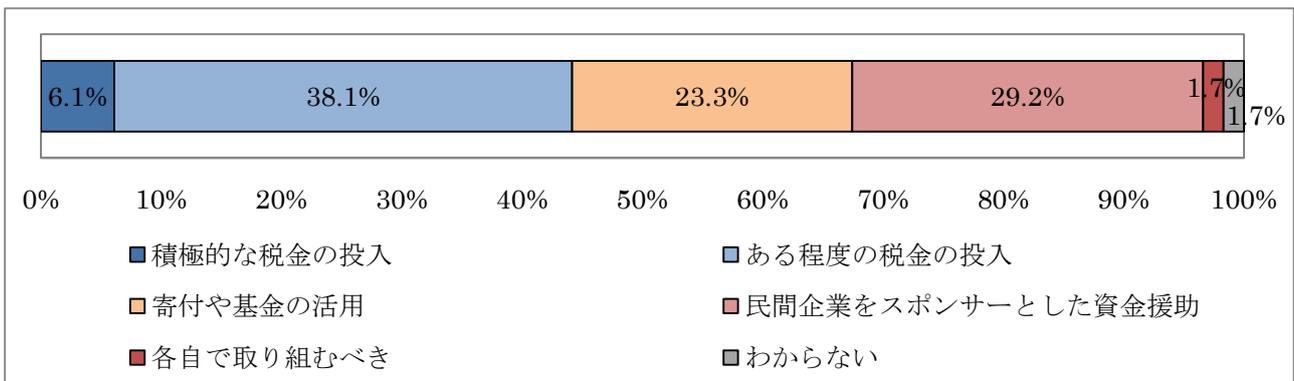
問8 歴史的な地域資源を活かしたまちづくりで、推進すべき取り組みはどのようなものと考えますか。



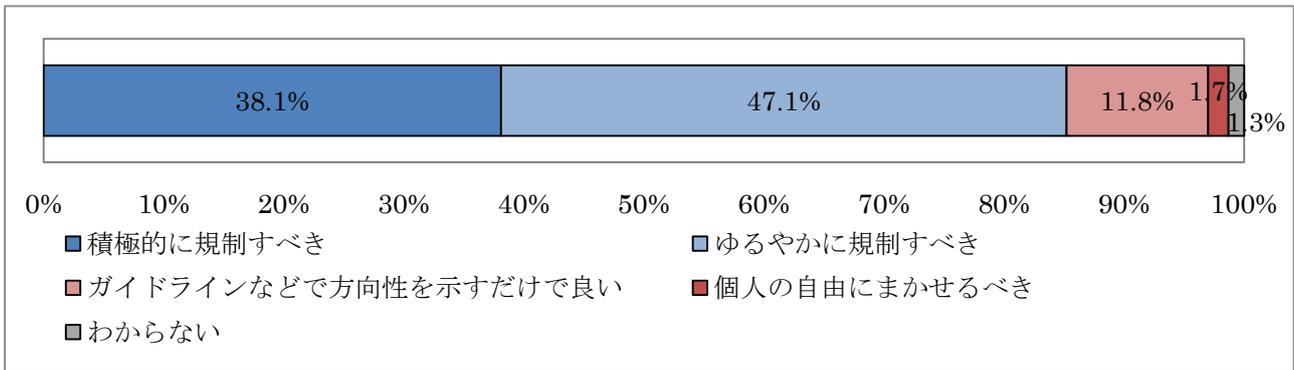
問9 あなたは、歴史的建造物（身近な古い建物）の保存・活用について、どのように思いますか。



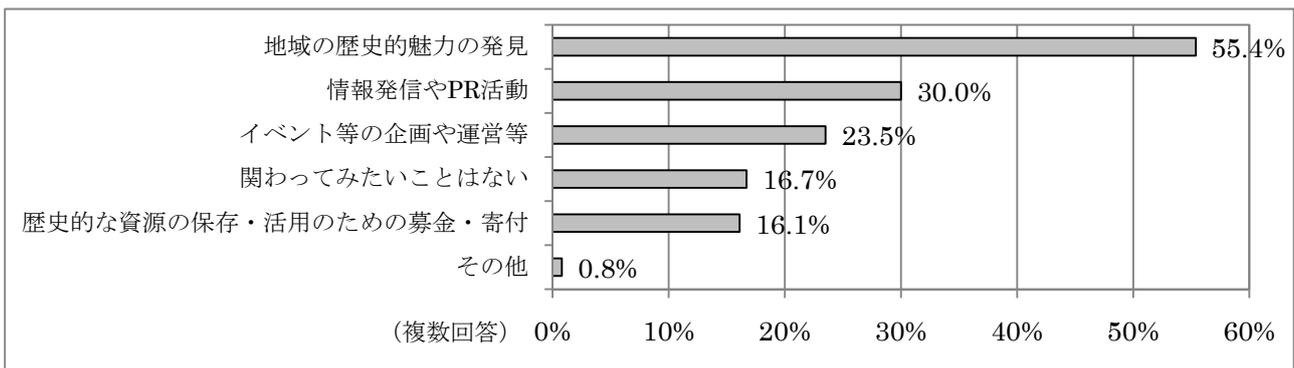
問10 あなたは、歴史的建造物（身近な古い建物）の保存・活用に取り組むための経済的支援について、どのような方法が最も適当であると思いますか。



問11 あなたは、史跡や古い町並みなど、歴史的な環境を有する場所やその周辺において、建物の高さや色などを規制することについてどう思いますか。



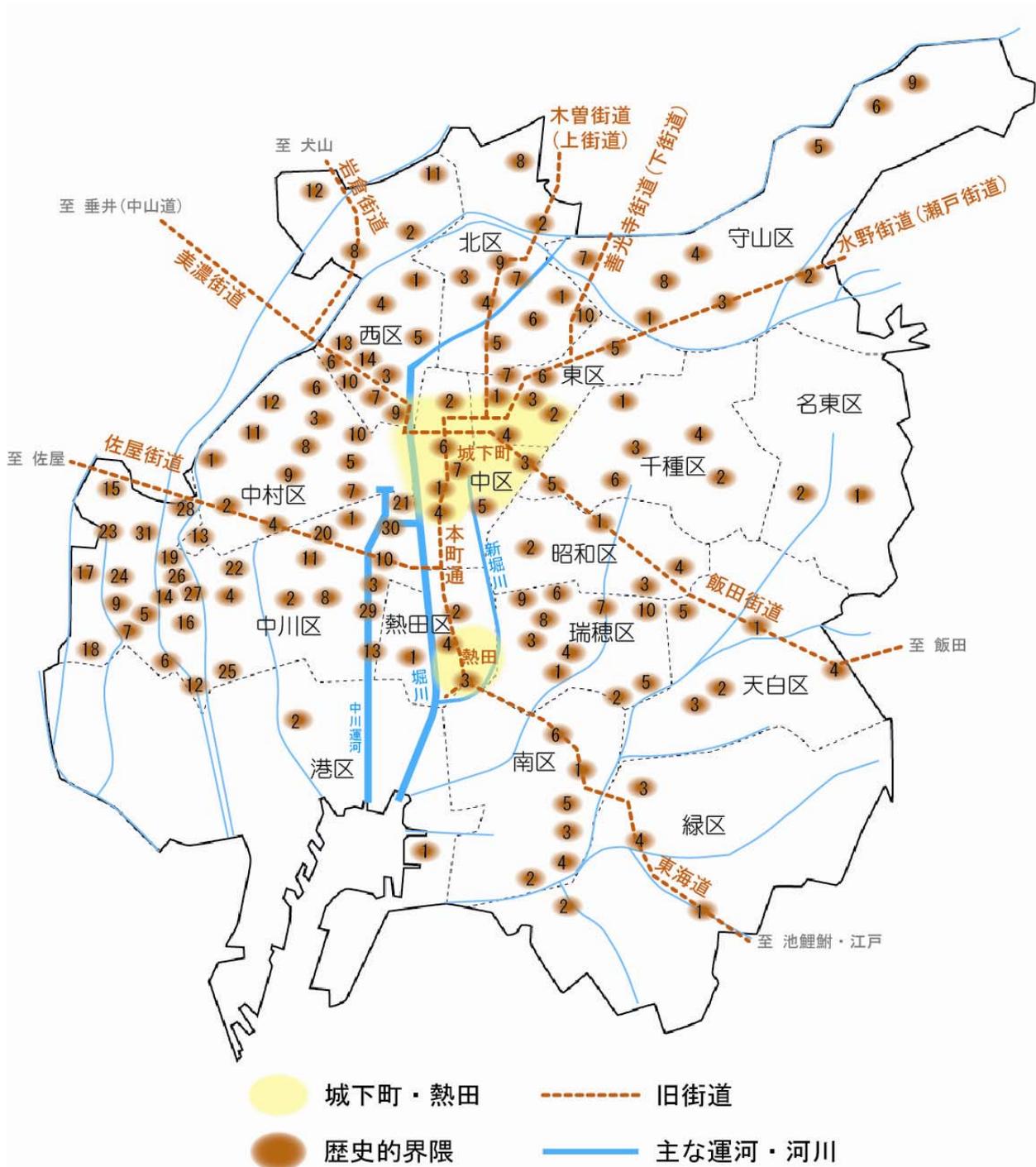
問12 「歴史まちづくり」において、あなたが関わってみたいことはありますか。



3. 歴史的界隈一覧

◎「歴史的建造物などの歴史的資産を活用したまちづくりに関する調査研究（平成23年3月）」
 （名古屋市・（財）地方自治研究機構の共同調査）より作成

※歴史的界隈の例示として調査作成したものであり、市内にはこの他にも多数の歴史的界隈があります。
 ※界隈の名称は、現在の町名を基本とし、区がまたがる場合は面積の大きい方に含めています。



○千種区



1. 上野・下方町・鍋屋上野町界限



上野天満宮など古くからの社寺や民家が残る。鋳物を営む集落があった。棒の手が残る。

2. 楠元町界限



市電の敷設にあわせて農地から住宅地として発展。愛知学院楠元学舎など近代建築が残る。

3. 山門町界限



日泰寺の門前商店街。周囲は、別荘住宅地、学園町として発展。町家などが残る。

4. 城山町界限



多くの寺社が集まる丘陵地。末森城跡にある緑豊かな城山八幡宮には、旧昭和塾堂等などがある。

5. 千種・今池界限



高牟神社などの古くからの社寺や入組んだ地道が残る。飯田街道、郡道沿いに町家が残る。

6. 丸山町界限



緑豊かな丸山神明社では毎月野菜市が開かれる。四観音道が通り、屋敷や町家が残る。

○東区



1. 白壁・主税・榎木界限



近世の武家町。明治以降、起業家が住む屋敷街に変化した。町並み保存地区。文化のみちエリア。

2. 筒井・新出来・百人町・黒門町・車道町界限



近世の東寺町、武家町。建中寺をはじめ、築城以来の寺社が数多く残り、山車も残る。

3. 徳川・相生町・赤塚町界限



近世の武家町。明治以降、陶磁器産業が盛んになり、陶磁器会館ができた。町家、長屋も残る。

4. 東 桜界限



近世の東寺町。城下町以来の道筋や多くの寺が残る。長屋などの店舗利用が見られる。

5. 矢田^{やだ}界限



矢田川に面して古刹の長母寺がある。水野街道沿いに町家が残る、周囲に地道が残る。

6. 山口町・徳川町^{やまぐちちょう とくがわちょう}界限



尾張藩重臣の武家屋敷が徳川園・徳川美術館、住宅地となった。周囲に洋間付住宅などが残る。

7. 芳野^{よしの}・白壁^{しらかべ}界限



尾張名所図絵の姿を今に伝える長久寺をはじめ、社寺、町家、長屋が残る。

○北区



1. 上飯田東町^{かみいだしがしまち}界限



古くからの社寺が残り、六所社には豊かな緑が見られる。東側に善光寺街道が通る。

2. 楠味鉢^{くすのきあじま}界限



味鉢神社、護国院などの社寺や木曾街道沿いの民家、旧醸造蔵、水屋、地道が残る。古墳も残る。

3. 光音寺町^{こうおんじちょう}界限



光音寺など古くからの社寺や民家、地道が残る。北に庄内用水が流れる。

4. 志賀町^{しがちょう}界限



木曾街道沿いに兒子八幡社など古くからの社寺や民家、地道が残る。東に御用水が通っていた。

5. 清水^{しみず}・中杉町^{なかすぎちょう}界限



木曾街道沿いに古くからの社寺や民家、地道が残る。城下町隣接の街道沿いの町と集落の面影が残る。

6. 下飯田町^{しもいだしちょう}界限



六所社などの古くからの社寺や民家、地道に集落の面影が残る。屋根神様も見られる。

7. 辻町^{つじちょう}界限



羊神社など古くからの社寺や民家、地道が残る。東に御用水が通っていた。

8. 如意^{にょい}界限



大井神社、瑞応寺など古くからの社寺や民家、地道が残る。戦後、商店街が形成された。

やすい
9.安井界限



木曾街道が通り、惣兵衛川が流れる。古くからの社寺や地道が残る。集落の面影が残る。

やまだちょう
10.山田町界限



中世以来の荘園、山田郷の地名が残る。尾張二代藩主光友公の勸進による山田天満宮がある。

○西区



いのうちょう
1.稲生町界限



式内社の伊奴神社など古くからの社寺や民家が残る。稲生カ原古戦場跡。稲生街道が通る。

おおのぎ
2.大野木界限



庄内川の右岸に形成された集落。大乃伎神社など古くからの社寺や民家、地道が残る。

おしきり
3.押切界限



美濃街道沿いに白山神社など古くからの社寺や町家残り周囲には屋根神様も見られる。

かきとりちょう
4.笠取町界限



付近への工場進出に伴い、昭和初期から宅地化。かつての勤労者向け住宅や商店などが残る。

かみなごや じょうさい
5.上名古屋・城西界限



近世の武家町。古くからの社寺が残る。蜂谷宗意宅址(志野流香道)など由緒のある場所が見られる。

さこう
6.栄生界限



明治までは水田地帯で周辺への工場進出に伴い昭和初期から宅地化が始まる。古くからの長屋が残る。

しんみち
7.新道界限



六つの寺が寺町を形成していた。町家や駄菓子問屋街などが残る。屋根神様も見られる。

なかおたい
8.中小田井界限



岩倉街道が通り、沿道に町家が残る。周囲には社寺や農家住宅、水屋も見られる。町並み保存地区。

なごの
9.那古野界限



堀川西の町人町。社寺、蔵、町家、屋根神様などが残る。円頓寺商店街がある。四間道町並み保存地区。

のりたけしんまち
10. 則武新町界隈



明治後期に窯業、繊維等の工場が進出。産業遺産が展示施設となっている。津嶋神社には山車が残る。

ひら
11. 比良界隈



山車の祭礼が行われる六所社などの古くからの社寺や民家、地道が残る。佐々成政居城址が残る。

ひらなちちよう
12. 平中町界隈



古くからの社寺や民家、地道が残る。神社や庭などの緑が多く畑も見られる。岩倉街道が東側を通る。

びわじま
13. 枇杷島界隈



美濃街道の要衝。清音寺など古くからの社寺や町家、屋根神様が残る。地名は「白菊の琵琶」に由来。

めいせい
14. 名西界隈



美濃街道沿いに町家が残る。街道沿いの八坂神社では提灯祭りが行われる。

○中村区



いなばじちよう
1. 稲葉地町界隈



稲葉地城跡の神明社、凌雲寺や古い民家、長屋が残る。旧配水塔を活用した演劇練習館がある。

いわつかちよう
2. 岩塚町界隈



庄内川対岸の万場宿と共に佐屋街道の宿場町。街道沿いに町家が残る。「きねこさ祭」が有名。

おおあきちよう まつばらちよう
3. 大秋町・松原町界隈



古くからの社寺や民家、地道に集落の面影が残る。八幡社は戦国期の太秋氏居城跡と言われる。

かすもりちよう
4. 烏森町界隈



佐屋街道と柳街道が交わる地点にあり、街道沿いの町家、街道南側には地道や農家住宅、社寺が残る。

かみこめのちよう たいこう
5. 上米野町・太閤界隈



柳街道沿いに古くからの商店が残る。往時の面影が残る。周囲には社寺や民家、地道が残る。

きこちよう
6. 栄生町界隈



古くからの社寺、民家、屋根神様が残る。入組んだ地道に集落の面影が残る。

しもこめのちょう たいしょうちょう
7.下米野町・大正町界隈



長松寺などの古くからの寺院、民家、長屋が残る。地道などに集落の面影が残る。

だいもんちょう ひよしちょう こぶさちょう はごみちちょう にぎわいちょう
8.大門町・日吉町・寿町・羽衣町・賑町界隈



西大須の火災を契機に大正12年に現在地に移転。デザインを凝らした近代和風建築が残る。

なかむらななまち しもなかむらちちょう
9.中村中町・下中村町界隈



古くからの社寺、農家住宅、地道が残る。茅葺の民家も残る。秀吉、清正生誕の地と言われる。

のりたけ
10.則武界隈



水野社などの古くからの社寺や民家、長屋などが残る。地道に集落の面影が残る。

ひがししゆくちょう
11.東宿町界隈



鎌倉街道萱津宿の出郷、東宿跡にあたり、市が立ち、人々の往来でにぎわったといわれる。

ひびつちょう
12.日比津町界隈



大円寺など古くからの社寺や民家、入り組んだ地道に集落の面影が残る。北側に庄内用水が流れる。

よこい
13.横井界隈



高野宮社や古くからの民家に集落の面影が残る。横井山山上には清正堂と弘法堂がある。

〇中区



おおす
1.大須界隈



近世の南寺町。大須観音や萬松寺などに面影が残る。アーケードのある門前商店街や路地が特徴的。

さんのまる
2.三の丸界隈



尾張藩重職の武家屋敷跡だった。帝冠様式の市役所、愛知県庁をはじめとする緑豊かな官庁街。

しんさかえ
3.新栄界隈



近世の東寺町。飯田街道周辺に社寺が集積。長屋、民家などが残る。白山神社には前方後円墳がある。

たちぼなちょう
4.橋町界隈



近世の南寺町。仏壇仏具商が集積。黒漆喰塗籠造商家が残る。「橋町」は尾張藩二代藩主光友公の命名。

とうようどおり
5.東陽通界隈



城下町の外側、近代になって宅地化が進んだ。東陽館のあった東陽通には古くからの店舗が残る。

ひろこうじ
6.広小路界隈



碁盤割りの町人町の南。大火による拡幅後にぎわった。近代名古屋の目抜き通り。近代建築が残る。

やばちようどおり
7.矢場町通界隈



近世の武家町、南寺町。山車祭りのある若宮八幡宮や政秀寺などの社寺、長屋、路地などが残る。

○昭和区



かわなほんまち ひろじほんまち
1.川名本町・広路本町界隈



飯田街道沿いに川原神社などの古くからの社寺や民家が残る。沢庵漬の製造が盛んであった。

ごきそ
2.御器所界隈



尾陽神社などの古くからの社寺が残り、群道が通る。御器所大根や沢庵漬の製造が盛んであった。

みなみやまちょう ひろじちょう
3.南山町・広路町界隈



耕地整理による大区画を取り、緑豊かな邸宅街を形成。南山学園ライネルス館など近代建築が残る。

やごとほんまち
4.八事本町界隈



飯田街道沿い、興正寺の門前町。景勝地から市電の敷設を契機に別荘住宅地に発展した。

○瑞穂区



いどたちょう
1.井戸田町界隈



瑞穂台地の南端、起伏に富み、地道が残る。龍泉寺には、源頼朝の産湯と伝わる亀井水が残る。

ぐんすいちょう にしよちょう
2.軍水町・仁所町界隈



天白川の河岸段丘上に位置し、西八幡社あたりに中根城があった。弥生期の銅鐸が出土している。

だいぎちょう だいぎしんちょう
3.大喜町・大喜新町界隈



瑞穂台地の際。田光八幡社など古くからの社寺、民家、地道が残る。郡道が通る。

つかたちょう
4.津賀田町界限



瑞穂台地の際。古墳の上に建てられた津賀田神社などの古い社寺や民家、地道が残る。

なかねちょう
5.中根町界限



東八幡社など古くからの神社や民家が残る。見当流の棒の手が保存されている。

なかやまちょう
6.中山町界限



瑞穂台地に位置する。古くからの社寺や洋館付き住宅等が残る。市立大学内に古墳が残る。

はつひちょう いしかわちょう きくぞのちょう しゅうげのちょう
7.初日町・石川町・菊園町・松月町界限



昭和初期の区画整理による閑静な住宅地。洋館付き住宅等が点在する。山崎川、東山荘がある。

ふなばらちょう きたはらちょう がんみちちょう
8.船原町・北原町・雁道町界限



東部は集落の面影を残し、西部は勤労者用住宅や商店街が残る。郡道沿いに町家や看板建築が残る。

みつるぎちょう おおたちょう かめしるちょう
9.御劔町・太田町・亀城町界限



東部は集落の面影を残し、西部は勤労者用住宅や商店街が残る。郡道が通る。八劔社など緑が豊か。

やとみちょう はるやまちょう
10.弥富町・春山町界限



八事丘陵の南に広がる、起伏に富む緑豊かな住宅地。大正末期の耕地整理による基盤整備された。

○熱田区



いちばん
1.一番界限



藩営新田の集落。古くからの民家や地道が残る。新西国三十三か所の観音堂が残る。

たかくらちょう よきむちょう たまのいちちょう もりごちょう
2.高蔵町・夜寒町・玉の井町・森後町界限



古くからの民家が残る。高座結御子神社には古くからの祭事が伝わる。佐屋街道が通った。

てんま きのめちょう おおせごちょう すかちょう ごうどちょう
3.伝馬・木の免町・大瀬子町・須賀町・神戸町界限



熱田神宮の門前町、漁師町。近世に東海道の宿場町、七里の渡も加わる。多くの史跡・名勝がある。

はたや しるとり
4.旗屋・白鳥界限



断夫山古墳、白鳥古墳や多くの社寺が残る。源頼朝出生地と伝わる。佐屋街道が通った。

○中川区



1. 愛知町界隈



集落の面影が残る中、古くからの長屋や商店街に中川運河開削に伴う勤労者の町の歴史を感じる。

2. 荒子町・荒子・的場町界隈



円空仏で有名な四観音の一つ荒子観音がある。地道や生垣に集落の面影が残る。前田利家ゆかりの地。

3. 牛立町界隈



集落内に勤労者住宅が建設された。地道や社寺が残り八幡社に山車が伝わる。百曲街道が通る。

4. 打出界隈



古くからの社寺や農家住宅、道端の地蔵、西井筋などに集落の面影が残る。

5. 榎津界隈



東に新川、西に萱津用水が流れ、古くからの社寺や農家住宅、地道が残る。

6. 江松界隈



文政の庄内川開削で堤の南に移された。古くからの社寺や農家住宅、地道が残る。漁村の趣がある。

7. かの里界隈



古くからの社寺や農家住宅、地道、戸田川沿いの水田に集落の面影が残る。

8. 上脇町・丸米町界隈



道路形態に集落の面影が残る中、中川運河開削による工業化に伴う勤労者の町の歴史を感じる。

9. 供米田界隈



西側に戸田川が流れる。農家住宅や地道が多く残る。茅葺の民家も残る。

10. 五女子町・五女子界隈



佐屋街道南に古くからの社寺、地道などが残る。中川運河開削に伴い建てられた勤労者住宅も残る。

11. 小本・小本本町界隈



旧一色電気鉄道の軌道跡が道路となっている。古くからの社寺、茅葺の民家が残る。

12. 下之一色町界隈



路地に建物が張り付く漁師町特有の景観や近代建築の銭湯などが残る。百曲街道の終点。

13. 十番町・八剣町・八番界隈



藩営新田の集落。百曲街道沿いに古くからの民家が残る。西国三十三か所観音堂が残る。

14. 助光界隈



区画整理により道路は拡幅されたが農家住宅や土之宮神明社に集落の面影が残る。

15. 千音寺界隈



西側に農地が残り、地道や水路、農家住宅に集落の面影が残る。北側に佐屋街道が通る。

16. 大当郎界隈



庄内川右岸の農村集落。細い地道や古くからの社寺、農家住宅に集落の面影が残る。

17. 戸田界隈



戸田川の水運に支えられた農村集落。地道や古くからの社寺や民家が残る。戸田祭には山車が出る。

18. 富永界隈



江戸時代に半農半漁の村が新田開発で農村となった。水路や細い地道、農家住宅が残る。

19. 長須賀界隈



農家住宅に集落の面影が残る。高い石垣の上に建てられた水屋を持つ茅葺屋根の民家が残る。

20. 長良町界隈



鉄道の開通と共に佐屋街道沿いに商店街が形成された。集落内には地道や農家住宅が残る。

21. 西日置町界隈



江戸時代は城下町に近く町奉行の支配下。西日置商店街が形成され、長屋形式の店舗併用住宅が残る。

22. 野田界隈



農家住宅に集落の面影が残る。曹洞宗の古刹、龍潭寺は苔むした庭が美しい。茅葺の民家も残る。

23. 服部界隈



農家住宅に集落の面影が残る。厨子二階の建物が多く、落ち着いた庭の雰囲気がある。

はるた
24.春田界限



戸田川の水運に支えられた農村集落。細い地道や古くからの社寺、農家住宅、醸造業が残る。

ひがしおこしちょう
25.東起町界限



百曲街道沿いの農村集落。古くからの農家住宅に集落の面影が残る。

ふしや
26.伏屋界限



宝蔵院、七所社などの社寺、地蔵が残り、古くからの農家住宅などに集落の面影が残る。

まえだにしまち ほんまえだちょう かわまえちょう
27.前田西町・本前田町・川前町界限



地道や古くからの農家住宅などに集落の面影が残る。前田城址の速念寺など歴史ある寺院がある。

まんば
28.万場界限



庄内川対岸の岩塚宿と共に佐屋街道の宿場町。街道沿いの建物にかつての宿場町の面影が残る。

もとなかのちょう
29.元中野町界限



農家住宅などに集落の面影が残る。中川運河開削に伴い、西側は工場等が進出した。

やなぎぼりちょう つきしまちょう ひるやちょう よこぼりちょう つばし きんのう
30.柳堀町・月島町・広住町・横堀町・霧橋・山王界限



中川運河とその支線沿いの地区。近代産業化を支えた運河、倉庫群、松重閘門、小栗橋などが残る。

よしづ
31.吉津界限



道路形態や寄棟の農家住宅に集落の面影が残る。東側に萱津用水が流れる。

○港区



おおえちょう
1.大江町界限



大正9年から埋立を始めた埠頭。この地域の近代産業化に貢献した近代建築が残る。

かんせいちょう ほんぐうちょう
2.寛政町・本宮町界限



熱田前新田に形成された農村集落。直線状に集落が形成された。豪華な造りの神楽が残る。

○南区



かきでらちよう
1. 笠寺町界隈



四観音の一つ笠寺観音などの社寺や東海道の町家、一里塚、農家住宅などが残る。武蔵伝説が伝わる。

なるお
2. 鳴尾界隈



地道や牛毛神社などの古くからの社寺や民家が残る。鳴尾公会堂は明治15年築のかつての小学校。

ほしぎき
3. 星崎界隈



地道や古くからの社寺や民家、地蔵、山車が残る。喚續神社には隕石が祀られている。

もとなるおちよう
4. 元鳴尾町界隈



地道や若宮八幡神社などの古くからの社寺や民家が残る。在野の儒学者・永井星渚の出生地。

もとほしぎきちよう
5. 本星崎町界隈



塩付街道の起点。地道や星の宮神社など古くからの社寺、民家、山車が残る。星崎城址がある。

よびつぎ
6. 呼続界隈



山崎側沿いには醸造所、東海道の沿いには古くからの社寺や民家が残る。富部神社には山車が残る。

○守山区



いちば まちきた まちみなみ もりやま にじっけんや ちようい
1. 市場・町北・町南・守山・甘軒家・長栄界隈



水野街道沿いの集落。地道が所々に残る。守山城跡、古墳、古くからの社寺や民家が残る。緑も豊か。

おおもり
2. 大森界隈



水野街道沿いの集落。大森寺など古くからの社寺や民家が残る。背後に丘陵地が迫り、緑が豊か。

おぼたなか
3. 小幡中界隈



水野街道沿いの集落。長慶寺など古くからの社寺や民家、地道が残る。四観音道も通る。

かわむらちよう
4. 川村町界隈



庄内川左岸の集落。式内社の川嶋神社をはじめ、地道、農家住宅が残る。

きつこ
5. 吉根界隈



庄内川の河岸段丘に位置する。古墳があり、吉根城跡は神明社になっている。昔の道路形態が残る。

6. 下志段味界隈



庄内川の河岸段丘に位置する。地道や農家住宅に集落の面影が残る。江戸時代、巡見道が縦断。

7. 瀬古東界隈



一帯に条理跡を残し、道路構成に名残をとどめる古くからの農村地帯。善光寺街道が通る。

8. 大永寺町・永森町・村合町・西城界隈



庄内川左岸の集落。名古屋城の余材で建てられたと言われる大永寺などの社寺や農家住宅が残る。

9. 中志段味界隈



庄内川の河岸段丘に位置する。地道や農家住宅などに集落の面影が残る。崖地の緑が豊富。

○緑区



1. 有松界隈



東海道の合の宿。東海道沿いに町家が建ち並び、絞り産業や山車が残る。町並み保存地区。

2. 大高町界隈



大高城址、氷上姉子神社などがあり、豊かな緑が残る。社寺や酒蔵、農家住宅が残る。知多街道が通る。

3. 古鳴海界隈



丘陵地の際に位置する農村集落。地道や古くからの農家住宅が多く残る。

4. 鳴海町界隈



東海道の宿場町として発展。多くの社寺や町家残り山車の祭礼も行われる。絞り産業が残る。

○名東区



1. 高針界隈



丘陵地に位置し地道が残る。江戸時代には中馬宿が置かれ、古くからの社寺や農家住宅が残る。

2. 西里町界隈



古くは陶器が焼かれ、江戸期は狩場だった。一部に昔の道路の形態や農家住宅が残る。

○天白区



1. うえだ うえだにし 植田・植田西界限



丘陵の際に位置する農村集落。斜面地に古寺が点在し、南側に八幡宮が鎮座する。

2. しまだ 島田界限



道路形態に集落の面影が残る。島田城跡や毛替地藏尊大祭の地藏寺などが残る。平針街道が通る。

3. すげた 菅田界限



地道が集落の面影を伝える。田畑が残り、背後の里山や菅田神社の緑が豊か。

4. ひらばり 平針界限



飯田街道周囲に地道や民家が残る。湯祭の慈眼寺や木遣り音頭の針名神社がある。

5. やよいがおか やごとんどう 弥生が岡・八事天道界限



丘陵地に広がる、起伏に富んだ、緑豊かな住宅地。古くからの社寺、が残り、坂道などの景観が特徴。

名古屋市歴史まちづくり戦略

「語りたくなるまち名古屋」の実現をめざして

名古屋市 住宅都市局 まちづくり企画部 歴史まちづくり推進室
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

発行年月：平成23年7月

電話番号：052-972-2782

FAX：052-972-4485

電子メール：a2782@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

編集・印刷：株式会社 キーパープラス



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



City of design NAGOYA

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008